

7. 血液内科

血液内科部長 白土基明

2024年はメンバーの入れ替えもなく、常勤医7名体制（時短勤務、専攻医含む）で診療を行いました。腫瘍細胞とリンパ球を繋いで免疫学的効果を発揮する二重特異性抗体と呼ばれる薬剤が悪性リンパ腫や多発性骨髄腫にも登場し、再発難治の患者さんに希望をもたらしています。このような新規薬剤をいち早く取り入れて、治療成績の向上が得られるよう努めて参ります。

総退院患者数：598 件

外来新患数：700 件

診 断 名	新患 入院数	退院 患者数	平均 在院 日数	平均 年齢	男	女
急性骨髄性白血病	27	89	27.0	69.4	65	24
急性リンパ性白血病	6	23	33.4	51.7	12	11
骨髄異形成症候群（経過中に化学療法あり）	5	35	14.9	77.1	29	6
骨髄異形成症候群（経過中に化学療法なし）	4	4	12.3	81.0	4	
慢性骨髄性白血病	8	9	14.0	66.3	6	3
その他の骨髄増殖性疾患	2	2	8.0	58.0	1	1
非ホジキンリンパ腫	60	238	19.6	71.7	108	130
ホジキンリンパ腫	4	15	22.0	70.1	10	5
多発性骨髄腫	26	102	22.3	71.4	47	55
成人T細胞性白血病・リンパ腫	3	31	20.2	72.3	9	22
その他のリンパ増殖性疾患（CLL など）	0	0	0.0	0.0	0	0
再生不良性貧血	3	6	36.2	67.5	4	2
溶血性貧血	4	8	29.6	81.1	6	2
特発性血小板減少性紫斑病	12	21	32.3	73.0	10	11
その他	11	15	18.1	72.9	8	7
合 計	175	598	22.0	70.9	319	279

骨髄穿刺件数（2024年）：615 件